

原発再稼働反対、即時原発ゼロを求める金曜日行動が25日も各地で行われました。

「再稼働反対」各地で

富山シール投票

富山県の「いらんぢや☆原発@富山」は、富山市のCIC前広場で180回目の行動に取り組みました。

参加者は交代でマイクを握り「再稼働反対」「原発なくそう」と呼びかけ。遠くでじっと訴えを聞いている人が何人かいました。

天気がよかったため、久しぶりに原発の是非を問うシール投票も実施。高校生など10人が投票し、多くが「原発は必要ない」に投票していました。

石川も投票行動

北陸電力志賀原発（石川県志賀町）の廃炉を求める「どいね☆原発」実行委員会は、金沢駅東口で188回目の行動をしました。

「原発ゼロ」と書いたのぼりをたて、「志賀原発再稼働反対」のピラを配布し、通行人に「原発いる。いらな

い」シール投票を呼びかけました。

新潟県柏崎市から来た女性は「柏崎にも原発がある。原発ゼロめさし頑張りましょう」と言っている。

にシールを貼りました。親子3人で立ち寄った家族は、母親と娘が「いらんぢや」に、父親が「いる」に投票し、その場でしばし「原発談議」となりました。

福井から来た女性2人は「わからない」に投票しましたが、実行委員が原発の危険性を話すところ「いらんぢや」にシールを貼り直ししました。

中部電力前訴え

名古屋市東区の中部電力本店前では、4月からの電力自由化を前に「原発頼みの電力は買わない」などと約20

人が声をあげました。中川区の女性は、中電の社長が浜岡原発を再稼働すれば電気料金を値下げすると発言したことについて「何となく卑劣で市民を脅す発言か」と批判。原発被災者のことを思えば再稼働などありえないと語気を強めました。

再生可能エネルギーで発電された電気を購入しよう、名古屋市内の会社を探していた60代の女性は、「結局見つからなかった。中電が再生可能エネルギーに転換してほしい」と訴えました。

関西電力東海支社前（同市東区）では約50人が「原発なくても電気は選べる」「大津地裁の高浜原発運転差し止め決定を受け入れる」などと抗議行動をしました。

新潟駅前を行進

「なくそう原発新潟市民ネット」は、新潟駅前で172回目の金曜行動を行い、集会后デモ行進しました。

集会では「新潟県技術委員会で、東京電力が5年間も見逃していた社内マニュアルのメ



デモ行進する参加者—25日、新潟市

3/27
五旗

2000人が「上関原発ノー」

山口県民大集会デモで訴え

中国電力による上関(かみのせき)原発建設計画(山口県上関町)の白紙撤回を求め「上関原発を建てさせない山口県民大集会」が26日、山口市で開かれました。上関原

発を建てさせない県民連絡会が主催し、約2000人が参加。「いらんちゃ原発」と声を上げデモ行進しました。

「させない祝島」いわいしま島民の会代表、田川章次氏(弁護士)があいさつ。那須氏は、中電による埋め立て免許延長申請の可否判断を引き延ばす異を批判し「奥いものはもたら絶たな



「NON」の紙を掲げ、上関原発ノーの思いをアピールする参加者=26日、山口市

いといけない。それは安倍政権をぶっつぶすことで、参院選で山口から原発ノーを掲げる議員を出すことが第一歩になる」と強調。清水氏は「中電も県も国も諦めていない。34年となる祝島のたたかいは高齢化で容易ではないが、今日を契機に計画をなくすまで頑張りたい」と述べました。福島県飯館(いいたて)村の酪農家・長谷川健一氏が原発事故で

放射能に汚染された村の現状や、原発再稼働を進める国への怒りを語りました。「放射能災害は全てをバラバラに破壊する。山口の人にわれわれのような思いをしてほしくない。反対の声を上げ続け」と訴え、大きな拍手が送られました。参加した市内の男性(66)は「現地の人だからこそ語れる長谷川さんの話が胸に響いた」と話しました。

日本共産党の春名なおあき参院比例候補、松田一志選挙区候補も参加しました。

北海道電泊原発 鍵の管理に不備

規制委が注意

原子力規制委員会は25日、北海道電力泊原発(北海道泊村)で、立ち入り禁止区域に入る扉の鍵の管理などに不備があったとして文書で注意しました。鍵が紛失するような事態

は起きていませんが、規制委は「核物質防護上、重大事案に発展する恐れがあった」としています。

規制委事務局の原子力規制庁によると、昨年9月、規制庁が定期的にやっている検査で、重要な鍵はリストを作って管理することになっていますが、一部の鍵がリストから漏れているなどの不備がありました。

また、警備員が巡視などの際、鍵を持ち出す手続きが定められておらず、厳重な管理がされていない可能性があったといえます。